

動き出した働き方改革

求められるDX まずは“変革のベースづくり”を

コロナ禍の中で、多くの企業が在宅やサテライトオフィスなどを活用したテレワークを続けている。しかし、テレワークはコロナ禍が終息しても終わらない。テレワークは今後の新しい“仕事様式”となることが確実だ。当初は効率の点での声が多かったものの、ここに至り課題を指摘する声も増えている。しかし、それらはテレワーク自体の課題ではないことが大半だったりもする。テレワークは“働き方改革”を実現する上で重要なツールの一つ。その活用は避けて通れない。では、どこに問題があるのか。日本働き方会議代表理事でシステム科学社長の石橋博史氏と考える。(青山博美)



テレワークの利用は進むが、DXは多くの企業でまだ始まったばかりだ

課題の本質は“組織の課題”

「業務の役割・分担が曖昧で上司の指示もわかりにくい」「上司の指示がわかりにくく、作業が円滑に進まない」「チーム内で十分なコミュニケーションがとれず、作業の方向性などがよく見えない」……

テレワークを続けるビジネスマンから、こんな声がよく聞かれる。

一方で、経営者や管理職者からは「ちゃんと仕事をしているのかわからない」「現場の状況がわからない」といった声もある。

一見するとコミュニケーション不足からくる不都合にも思える内容だが、実は“組織に宿る本質的な課題”がテレワークであぶり出されて顕在化しているのか

も知れない。

「多くの日本企業は、いまだに“改革のベース”ができていない。このため、これまでは組織やチームの中で補完しながら解決してきたことがテレワーク下では大きな不都合として浮かび上がる」(石橋博史氏)

日本の組織には、みんなで助け合いながらがんばる風土が染みついている。感覚的な社員の育成、属人的な仕事ぶりや成果。そして指摘し合って助け合う。もちろんいい面もあるが、よくない面もある。そのよくない面が障害になっている、というわけだ。

求められる業務の可視化

石橋氏は「経営に必要なのは、ホワイトカラーがリーダーシップを発揮し、全員参加で改善力を高め、競争優位を実現する行動力だ」という。その上で「経営者が“目的・目標”を明示すること」「“変革のベースづくり”に取り組むこと」が重要だと強調する。

そして“変革のベース”とは「業務プロセスを把握し、整理し、マニュアル化すること。要は“業務の可視化”が求められている」という。

実際に、テレワークがうまくいっている企業の関係者に秘訣を聞くと、「中間管理職の管理能力が問われる。誰が、いつまでに、どの仕事を、どんな形で片づけるのかを明確に示し、現場と合意し、結果を確認する—という作業がきちんとできていないと成果はでない」と断言する。

その前提に業務プロセスの可視化がある。どの仕事にどれだけ時間がかかるのか、どういう結果が求められるのか。それらがわからなければそもそも業務はまわらないものとなる。テレワーク下ではそれを補完・修正する上司や同僚も存在しないのだ。

可視化はDX実現の条件

業務の可視化はテレワークの成否に限ったことではない。

「ロボティック・プロセス・オートメーション(RPA)や人工知能(AI)の活用や、果てはデジタルトランスフォーメーション(DX)も、そもそもの業務

プロセスがブラックボックス化しては使えない」(同)。

コンピューター上での業務を人に代わってロボットが行うRPAは、事務効率化の切り札として試行が進んできた。請求書の発行といった繰り返される大量の作業で絶大な威力を発揮する。ただ、プロセスが複雑だったり、無駄が多かったり、その都度違う様式だったりすると、その効果は限定的になる。

ふだんあまり意識することなく進められてきた日本企業における業務。そのプロセスをきちんと把握すると、多くの無駄やムラがあることにも気づかされる。かつて作られ、すでに役割を終えた省いても問題のないプロセスもある。そういったものを整理するだけでも大いに効率化は進む。

コロナ禍におけるテレワークもそうだが、人口減少の一途をたどっている日本の経済社会では、将来的な人手不足も必至だ。いまこそ改革を。まずはそのためのベースづくりを始める時がきている。

日本働き方会議代表理事の石橋博史氏



時間・曜日・受講ペースが自由に選べる

DX 実現に求められる業務プロセスの可視化技術 可視経営塾 新規開講



業務の可視化をせずに DX 推進をしようとすると…

業務プロセスの実態がわからないため、ブラックボックス化したシステム構築…

業務の整理・整頓ができていないため、DX 推進に時間がかかる…

どの業務が RPA 化できるかわからないため、試行だけで終わってしまっている…

可視経営塾 受講で解決!

業務プロセスがわかるため、一貫性のあるシステム構築!

業務をあるべき姿に整理・整頓できるから、DX 推進を短期間で実現!

RPA 化できる業務が一目でわかるから、最大限の自動化の効果を実現!



1 講座あたり 90 分
オンライン形式にて開催



全 6 種類の講座
可視化の基本手法を習得



平日 5 営業日 毎日開催
いつでも受講可能

新規開講記念キャンペーン価格にてご提供中!
詳しくは WEB をご覧下さい。

日本働き方会議
<https://jwc-kaikaku.jp/>

